

灯台集合！こまちなみなーとミニ

日 時	平成 25 年 11 月 4 日(月・振祝) 10 時～15 時
場 所	大野地区界隈
実施体	主催:こまちなみなーと実行委員会 共催:海上保安庁金沢海上保安部／石川県金沢港大野からくり記念館 後援:金沢市

かつては北前船が往来し、海の玄関口として栄えた港町・大野。江戸時代から続く醤油づくりの町としても知られます。現在も町家や醤油蔵が建ち並ぶその地区を舞台に、「地域とつながる商店街モデル事業」の採択イベントが開催されました。

大野では毎年秋に「こまちなみなーと」（旧・大野こまちなみフェスタ）という地域おこしイベントを開催しています。「こまちなみなーとミニ」は、そこで培われた地域内外の連携パートナーとのネットワークを活用し、イベントを定期化することで通年での集客をめざそうというもの。今回は「灯台集合！」と題して、地区のランドマークとも言うべき大野灯台の内部が公開される「灯台の日」に合わせて実施されました。

灯台の中に入ることができる機会は年に数回しかありません。このチャンスを逃すまいと、家族連れを中心に多くの人々が来場しました。灯台内部には 117 段もの階段があります。それを昇り、8 階建てのビルに相当する高さ 26.4m からの眺めを楽しんでいました。灯台の周辺では、地区の青年会を中心とした有志による、灯台にちなんだ「ものづくり体験ワークショップ」が開催され、子どもたちが熱心に制作に打ち込んでいました。また、醤油や味噌などの特産品、海鮮鍋の販売も行われ、人々で賑わっていました。

灯台から離れると、数軒の町家が休憩場やカフェ、フットセラピーとして憩いを提供しており、散策マップを片手にした観光客が足を止めていました。また、大野埠頭では海上保安庁の協力による巡視艇の体験乗船が実施され、ライフジャケットを身に着けた参加者が楽しそうに金沢港クルージングに出発していました。

灯台、町家、海と、地区が持つ魅力をふんだんに盛り込んだ今回の「こまちなみなーとミニ」。今後の開催にも期待が集まります。



大野のシンボル「大野灯台」



灯台の高さにビックリ！



盛況の「ものづくり体験ワークショップ」



金沢港クルージングに出発！